

令和2年度 堺市障害者施策推進協議会障害児支援専門部会 概要

事務局：子ども家庭課

第1回開催

1. 開催方法 令和2年9月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面にて開催

2. 議題

(1) ロードマップについて…別紙1「令和2年度障害児支援専門部会ロードマップ」参照

・令和元年度の重点検討項目を引き継いで設定した項目について、意見集約。

・委員より、「IV 児童発達支援センターの機能強化」について、「8 地域支援の充実」

に力を入れていってほしい。計画相談などの内容はどの項目にあたるのか？

といった意見があった。

(2) 施策目標の進捗状況について…別紙2「施策目標の進捗状況（令和2年8月時点）」

・令和元年度の重点検討項目について、現状と達成状況、今後の方向性について

報告。委員より、「15 行動障害のある児童への支援体制の構築」について、

対象児数が実態とかけ離れている。早期発見・早期支援の重要性についての意見が

あった。「26 医療的ケア児の支援体制の整備」について、保護者が安心して医療的

ケア児を預けることができる施設や体制がどの程度あるのか等の情報がほしいと

いった意見があった。

(3) 就学前施設等の状況について

①就学前施設、通所教室等の通所状況について報告。

②就学前障害児の実態把握について…別紙3「令和元年度実態把握調査のまとめ」

参照

- ・令和元年度に実施した実態把握の集計結果の報告と令和2年度調査案の提示
- ・施設等通所児の状況では、前年度から86人減少しており、理由のひとつとして福祉型児童発達支援センターを統合した際、利用形態を見直したことが影響していると思われる。私立認定こども園・保育園は年々増加傾向にある。
- ・医療的ケアの有無について、「あり」と回答があったのは50人で、障害別では重症心身障害が最も多く、ケアの内容としては経管栄養(胃ろう、経鼻など)や人工呼吸器や気管切開が多い。
- ・委員より、「あい・ふあいる」のアンケートが参考になったという意見や、活用されていない状況が続いているため根本的な検討が必要ではないかという意見があった。

(4) 特別支援教育の状況及び取組みについて

- ・本市の障害のある児童・生徒の状況について報告。
- ・障害種別の内訳としては、小・中学校とも自閉症・情緒障害が約半数を占め、発達障害群の診断名がある児童生徒も多数含まれている。
- ・支援教育課では、主な取り組み事業として特別支援推進事業、特別支援教育環境整備事業、ユニバーサルデザインスクール事業などがあり、介助員の配置や医療的ケアの看護師派遣、発達障害児等専門家派遣などを行っている。令和2年度から教員研修は教育センターに移管したが、新型コロナウイルス感染症対策により未実施の研修もある。

第2回開催

1. 日時 令和2年11月5日(木) 午後1時～3時30分

2. 場所 堺市役所 本館3階 第1会議室

3. 議題

(1) 施策目標の進捗状況について

- ・施策目標について、現状と達成状況、今後の方向性について報告…別紙2参照
- ・第1回書面開催で意見があった、施策目標「14 教育と福祉の連携の推進」について、

けいかくそうだん きょういく れんけい ほうかごとう がっこう れんけい ほうこく
計画相談と教育との連携や放課後等デイサービスと学校との連携などについて報告。

- せさくもくひょう しえんしゃ ししつこうじょう ようせいけんしゅう
・施策目標「25 支援者の資質向上」について、あい・さかい・サポーター養成研修を
うけている支援者が増え、効果について実感しているとの意見があった。また、いりょうかんけい
の資質向上の機会が少ないため、今後対象としてほしいとの意見があった。

(2) その他

- いいん けいかくそうだん まえ しえん ひつよう いけん
・委員より、計画相談につながる前の相談支援システムが必要ではないかという意見
があった。